

## ものづくり大学卒業生の就職先等の進路先への意見聴取等（2025年度）

本学卒業生への企業からのご意見を伺い、本学の教育内容等の改善に資することを目的に、以下の通りの意見聴取調査を実施した（主な内容は、前年度と同様である）。

1. 意見聴取の実施時期：2025年12月15～16日
2. 意見聴取の場所：本学内で、企業研究交流会の前後で時間をとっていただいた。
3. 意見聴取先：両学科のバランスに配慮し、各系統3社ずつ行った（敬称略）。
  - (1) 製造業系：
    - 寿屋フロンテ株式会社
    - 田辺工業株式会社
    - 株式会社ヒガシ
  - (2) 建設業系：
    - 株式会社安部日鋼工業
    - 株式会社佐伯工務店
    - 株式会社ファイブイズホーム

### 4. 意見聴取のとりまとめ概要

1. 本学の卒業生のその後の様子や企業様の人材に関するご要望等について

Q1. 本学の卒業生・修了生を全体的に見て、社会人として必要と思われる能力や資質は、現時点で備わっていますか？

社会人として必要と思われる能力・資質：

- (1) コミュニケーション能力、(2) 自己理解・主体的行動力、
- (3) 課題発見・対応能力、企画力、計画力、(4) 創造力・論理的思考力、
- (5) 学習習慣・自己啓発力、(6) コンプライアンス・倫理観・モラル、
- (7) 専門知識・技能、(8) 文章表現力・数的処理能力、
- (9) 国際感覚・異文化理解力、(10) 外国語運用力、(11) 情報通信技術（ICT）活用力、
- (12) チームワーク・リーダーシップ、(13) 一般的知識・幅広い教養
- (14) データ分析・数理的分析力

次のようなご意見をいただいた。

(2)、(6)、(7)が4社で、かなり高く評価していただいた。

(1)が3社、(3)が2社と評価していただいた。

○ 個別の意見としては、以下のようなものがあった。

- ・実技ができることが良い。
- ・専門知識や現場の理解は、身に付いている。
- ・技術者・エンジニアとして必要なことは入社後に覚えてもらうが、入社時の社会人としては身に付いている。

- ・自身の能力や得意分野を把握しており、所属した職場や組織内において、またその日その日に与えられた環境において、どう行動すれば役に立つかを理解している。
- ・ルールに則って誠実に業務遂行する判断能力が備わっている。
- ・自身の担当業務における基本的知識に加え、各現場にて経験（成功・失敗）してきたことを自分のみの肥やしとせず、後輩たちに還元してくれている。
- ・若手社員に『最も信頼できる先輩は？』と質問した時に貴学の卒業生の名前が挙がること  
が圧倒的に多い。寡黙なメンバーが多いが、困っている後輩や職人さんへの気配りや的確な指示を与えることに長けている。また、他大学を含めたインターンシップ生の面倒見も圧倒的に良く感謝している。

- 逆に、(5)、(8)はもう少しあると望ましいということや以下の意見をいただいた。
- ・覚えていくことが多いので、壁にぶつかった時に前向きの姿勢が大切になるため、自己啓発力があるとよい。

Q2.本学では、以下の知識や資質を身に付けた学生に対して学位を授与する方針を掲げています。卒業時にそれらが身に付いていたと思われますか？

評価点→	5	4	3	2	1	合計
①ものづくりを実践することから得られる創意工夫する力（現場力）を有する	5	1	0	0	0	29
②課題を見出しチームで協力したり、リーダーとなって解決する力（課題設定・解決力、マネジメント力）を有する	1	3	1	1	0	22
③困難に向き合い乗り越える力（耐力、胆力）を有する	1	4	1	0	0	24
④異文化など多様性を受容、尊重でき、科学技術、社会経済のグローバル化に対応できる力（協調力）を有する	0	2	4	0	0	20
⑤価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合える力（コミュニケーション力）を有する	1	3	2	0	0	23

- (評価点)
- 5：身に付けている
  - 4：どちらかと言えば身に付いている
  - 3：一概に言えない
  - 2：どちらかと言えば身に付いていない
  - 1：身に付けていない

合計は、上記の5～1のポイントに企業数をかけて合算したものであり、まとめは以下のとおり。

- ①が最も高く、②③⑤は、同等程度の評価となった。
- ④は、少し評価が下がっており、今後の検討が待たれる。
- また、以下の意見をいただいた。

(製造業系)

- ・聞いたことをよく吟味して理解し、意見交換できるとなおよい。
- ・総じて興味を持つ部分には力を発揮しており、意欲推進力は評価する。

(建設業系)

- ・概ねコミュニケーションは、良好であるが聞く力をもっと高めると更によい。
- ・リーダーになってほしいが、受け身。リーダーとしての力を身に付けてほしい。
- ・インターンシップの経験や実習により、現場力が身に付いている。

Q3. 技能重視の技術者教育による本学卒業生・修了生について、どのように評価されていますか？

- ① 貴社の求める人材像に合致する (5社)
  - ② 貴社においては有効性を発揮できないが、産業界全体としては育てるべき人材像である (0社)
  - ③ 他大学との違いがわからない (0社)
  - ④ 有効であるかどうか判断できない・どちらともいえない (0社)
  - ⑤ あまり有効ではない (0社)
- ※ ①と②の間 (1社)

- ほとんどの企業が①を選択していただいております、今後も採用していただけると期待をしています。
- 個別の意見としては、以下のようなものがあつた。
  - ・大学での技能実習により身に付いてきた技術的な自信を基に、入社後の実践における経験をスムーズに身に付けてくれている。
  - ・他大学や他専門学校の机上の成績優秀者に比べ、現場対応力（応用力）が高く、早期の戦力になる。
  - ・技術力にも自信があり、そのアドバンテージが入社後からずっと続いている。
  - ・体を動かして、ものづくりができることを評価している。
  - ・産業界全体としては、高齢化であり若手が必要。弊社は、特にリーダーとなれる人材がほしいがもの大生は、おとなしい。受け身ではなく、率先して取り組める人材育成を望む。
  - ・弊社は、技術系8割以上で構成、社内教育でも実学を重視している。BtoBの会社で、技術力が必要であり、社内でも教育訓練に力をいれている。
  - ・卒業生は、実践的な学びを経験しており、自分の知識に自信をもって取り組んでいる。
  - ・弊社は、施工管理がメインのため、現場の知識を有する卒業生は即戦力となっている。
  - ・通常、採用後3か月の研修期間を経て7月から現場にでるため、夏の暑さや体力的な面など心配であるが、もの大卒業生は、夏の40日のインターンシップを経験済みで、安心感がある。
  - ・他大学の卒業生と比べて現場に慣れていることも安心である。

Q4. ものづくり大学の卒業生・修了生について、どのような点を評価されて採用されましたか？

例：①専門知識／能力がある ②技能がある程度できる ③創造的である  
④理解力／思考力がある ⑤現場を知っている／いやがらない  
⑥考えがポジティブである／元気がある ⑦体力／忍耐力がある  
⑧コミュニケーションがよい ⑨協調性がある ⑩挨拶など、マナーが良い

- ①専門知識／能力がある、②技能がある程度できる、④理解力／思考力がある、⑦体力／忍耐力があるに加え、まじめで責任感があることを重視している。(製造業系)
- ①専門知識／能力がある、②技能がある程度できる、⑤現場を知っている／いやがらない、⑥考え方がポジティブである／元気がある、⑧コミュニケーションがより、⑨協調性がある、⑩挨拶など、マナーが良いを重視している。(製造業系)
- ①専門知識／能力がある、②技能がある程度できる、④理解力／思考力があることを重視している。実際、昨年入社した学生は職場体験で受け入れた学生であり、弊社は業務内容のイメージがしづらい企業と認識しているが、体験することで理解してもらえたのではないか。職場体験に悩みながら参加する学生も多いが、卒業生は授業での経験により吸収が早く、興味を持って参加してもらえたことが良かった。(製造業系)
- ものをつくる仕事に本当に興味を持っている。この興味は本人の先入観のみでなく、大学での実習を中心とした経験に裏付けされた興味であり、社会に出てからの仕事に対する覚悟が感じられ、面接用の上辺だけのものでないと感じられる。ものづくりを目指す人として地に足が付いた学生(卒業生)であると感じている。また、技術力にも自信があり、そのアドバンテージが入社時からずっと続いている。(建設業系)
- ⑤現場を知っている／いやがらない、建築が好きで、4年間しっかりと学んでいるところを重視している。(建設業系)
- ②技能がある程度できる、⑤現場を知っている／いやがらない、⑦体力／忍耐力があることを重視している。(建設業系)

Q5.社会人として必要なこと、学生時代に身に付けておいて欲しい能力や資質、経験しておいて欲しいこと等を教えてください。

- 社会人になってからも自ら成長し続けるマインド。(製造業系)
- 一般的なビジネスマナー、報告書の書き方、CAD・NCプログラミング(製造業系)
- 大学生に共通することとして、資格や知識は入社後でもよいが、例えば、わからないことや気になることがあった場合、自分で調べる習慣があると伸びていきやすい。つくるもの・扱うものに興味を持って臨んでほしい。また、わからないことはすぐ聞くのではなく、答えを求める過程があると理解が深まるので、プロセスを踏んでから聞く姿勢があるとよい。(製造業系)
- ・必要なこと  
基本的な行動習慣と他者と協働する姿勢が専門知識やスキルを活かす土台となる  
・身に付けておいてほしいこと  
『挨拶ができて、時間を守れること』を最前提として、その上で社会人として大切なのが

『相手（上司や先輩や職人さん等）の話を最後まで聞く姿勢』

更にそのうえで

『社会に出たら、指示待ちでなく自分で考えて行動する姿勢』

『任されたことに（小さなことでも）責任を持って全うする姿勢』

『失敗を恐れず（隠さず）前向きに次に活かす姿勢』（建設業系）

- 一般常識、ビジネスマナー、言葉遣いについて、職場でも教えるが一から教えている時間がないため、大学でしっかりと教えてほしい。接客もあり、この点が備わっていないことのよりクレームとなることもある。（建設業系）
- 卒業生は、施工管理のみならず、1年目と3年目の設計で活躍している。CADの授業は引き続きお願いしたい。測量実習の授業も学んでほしい。専門的なことは、身に付いている。1級施工管理技士試験は19歳から受験できるので、チャレンジしてほしい。その他としては、コミュニケーション力。（建設業系）

## 2. 本学の「卒業研究および製作」による総合評価について

Q1. 総合評価に係る評価項目について、現評価項目へのご意見および学修の成果として示すことが好ましい項目等がございましたら、教えてください。

- 自らが行った研究・制作について、客観的に評価できる力、PDCAを回せる力。学生が自己満足で終わらないようにしてほしい。（製造業系）
- 取組みは、非常に良いと思う。弊社としても非常に勉強となる内容である。（製造業系）
- 採用者目線としては、「協働力」がわかるとありがたい。職場ではチームで仕事を進めることが多く、大学時代にチームでの活躍実績を見ることが多い。仕事では納期もあり、事前に計画を立てたり、進めたりすることがわかれば、採用時の参考になる。（製造業系）
- 学修の成果（評価）としては、申し分なく現状ルーブリック表に賛成します。一方で、学生がせっかく頑張ったこの学びを『社会に出てどのように活かせると思うか？この研究を活かせるのはどんな分野のどんな場面なのか？』を想像させることが大切だと思います。『ものづくり大学で学んで、この卒業研究をしたんだ！』という具体的な自信をもって社会人デビューできれば、他大学の出身者よりもより実践的に一歩前に踏み出した状態で自分自身を差別化してスタートダッシュを切れると思います。学生が学びは学びであり、社会に出ることとは別問題と捉えることがないように、卒業研究の評価と社会人デビューが連動して、卒業生の心の余裕（不安の解消）につながるような工夫があれば、受入れる側の企業も更に期待が高まると思います。（建設業系）
- 取組みは、とても良い。評価については、事柄に応じて変えた方が良いと思う。（建設業系）
- スケジュール管理能力があるとよい。（建設業系）

Q2. 総合評価全般へのご意見がございましたら、教えてください。

- どうしてもものづくりの方向性を選んだのか、自己分析できる力や自分の意思をしっかりと持ってほしい（製造業系）

- ルーブリックについては、これが目的化することなく、例えば卒業研究や実習が社会に出た後、仕事等とどう結びつくかを考えさせる、想像させることを行ってほしい。(建設業系)

以上